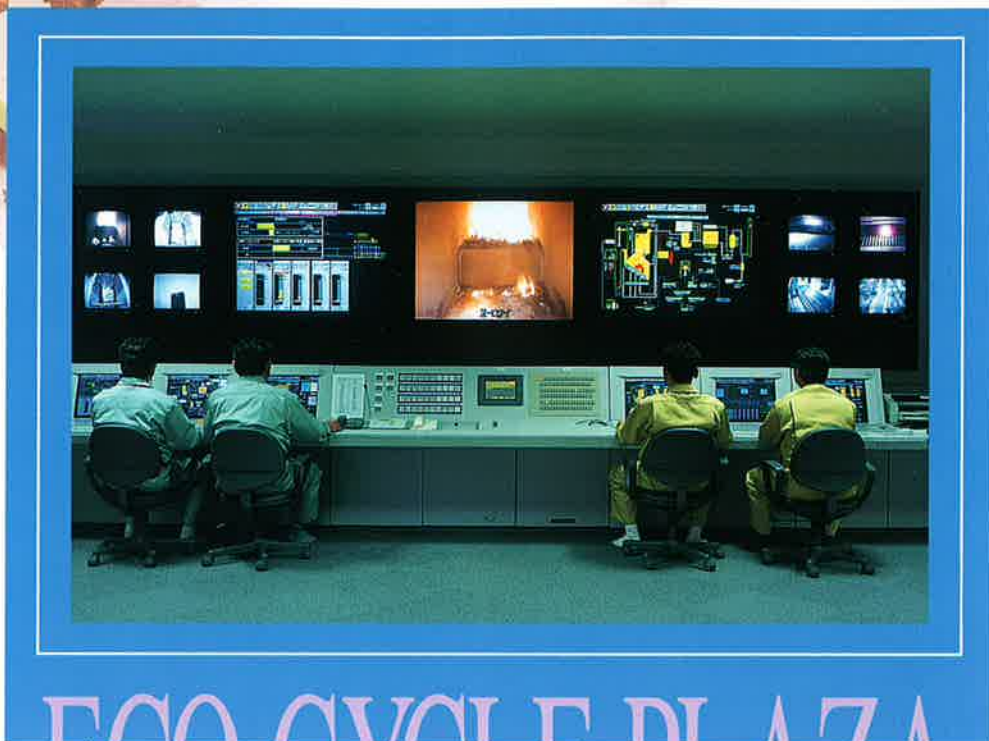


一般廃棄物処理施設
ささゆりクリーンパーク

●エコサイクルプラザ 可燃ごみ処理施設●

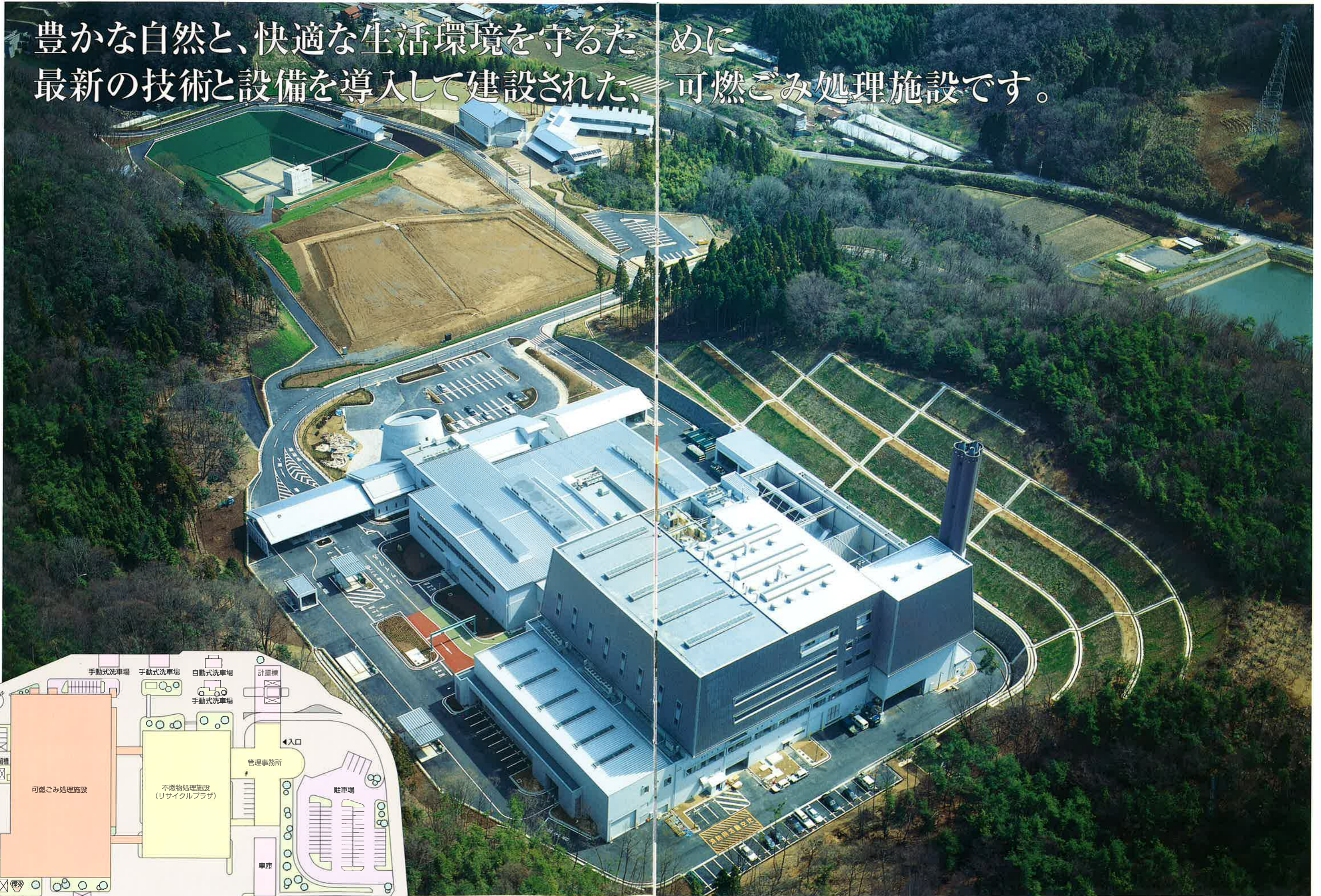
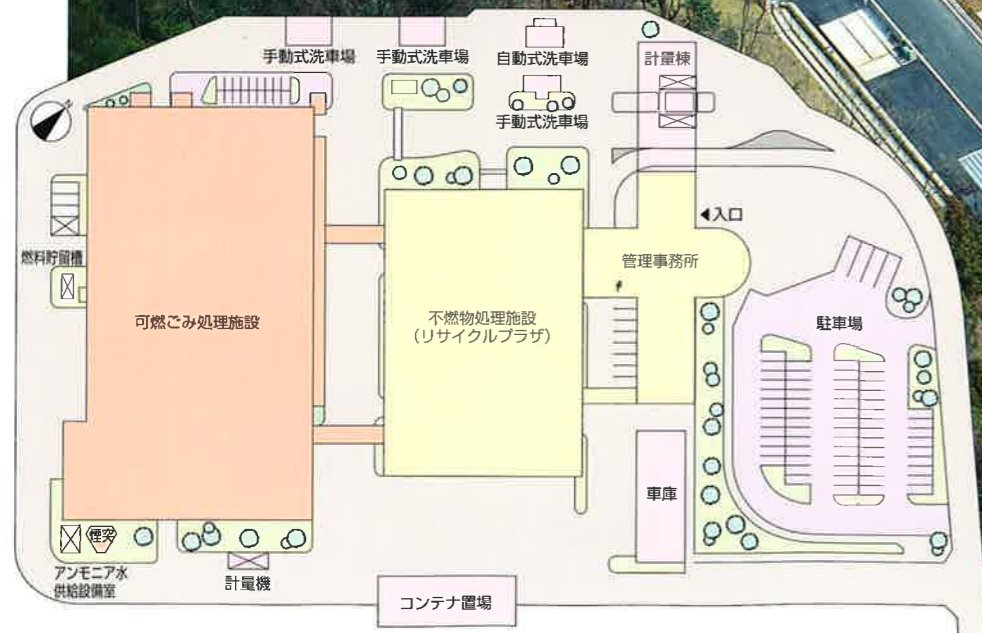
岐阜県地球環境村指定第1号施設



ECO CYCLE PLAZA

可茂衛生施設利用組合

豊かな自然と、快適な生活環境を守るために
最新の技術と設備を導入して建設された、可燃ごみ処理施設です。



施設のあらまし

施設の概要

- 施設名 / ささゆりクリーンパークごみ処理施設
- 所在地 / 岐阜県可児市塩河839番地
- 工期 / 着工 平成7年10月2日
竣工 平成11年3月31日
- 工事費 / 82億560万円
- 設計・施工 / 日立造船株式会社 中部支社
- 工事監理 / 株式会社建設技術研究所名古屋支店
株式会社日建設計 名古屋事務所
- 敷地面積 / 25,789.39m²
- 建築面積 / 10,430.04m²
- 延床面積 / 24,595.21m²
- 建築構造 / 鉄骨・鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、
地下1階・地上6階
- 施設規模 / 焼却炉 240t/24h (80t/24h×3炉)
溶融炉 60t/24h (30t/24h×2炉)
- 炉形式 / 焼却炉 全連続燃焼式ストーカ炉
溶融炉 電気プラズマ式
- 受入供給方式 / ピットアンドクレーン方式
- 排ガス処理方式 / 乾式(消石灰吹込)、バグフィルタ、
触媒反応塔
- 余熱利用 / 発電(蒸気タービン2,500kW)、
場内給湯・冷暖房

施設の特徴

- **煙—バグフィルタ・触媒反応塔の採用**
ごみ処理施設により排出される高温のガス(煙)については、「バグフィルタ」「触媒反応塔」という最新鋭の設備により、極めてクリーンで安全な状態に処理されます。このため、大気汚染の防止については、次の数値を充分遵守した施設となっております。

項目	規制値	設定値
ばいじん	0.15g/m ³ N以下	0.02g/m ³ N以下
硫黄酸化物	127ppm以下	80ppm以下
塩化水素	430ppm以下	100ppm以下
窒素酸化物	250ppm以下	150ppm以下
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	0.1ng-TEQ/m ³ N以下

- **灰——全量溶融化の採用**
ごみ処理施設にて焼却された灰等(焼却灰、飛灰、不燃物残渣)は、全て1350℃以上の高温で溶融させ「スラグ化(ガラス固化)」された後、これを最終処分場に埋立します。このため、公害が発生する恐れがないばかりでなく、最終処分場の延命化が図られます。また、土木資材などのリサイクル活用も図られています。

- **自家発電——余熱を最大限利用**
ごみの焼却により発生する熱はボイラで蒸気として回収、蒸気タービンによって発電し、プラズマ式溶融炉の熱源などに利用しており、経費の節約を図っています。

- **水——再利用・クローズド方式の採用**
ごみ処理施設及び不燃物処理施設から発生する排水は処理した後、施設内での再利用をはかるクローズド方式を採用しています。最終処分場についても、浸出水は処理プラントで処理した後、ごみ処理施設に送られ再利用されています。このため、施設からの排水は河川へは放流されません。

設備概要

- **受入供給設備**
ごみ計量機(30t)……………3基
ごみ投入扉……………5基
ごみピット(4800m³)……………1基
ごみクレーン(自動、定格1.8t)……………2基
- **燃焼設備**
燃焼装置(デロール式揺動階段火格子、80t/24h)……………3基
- **燃焼ガス冷却設備**
廃熱ボイラ(自然循環式、13.3t/h)……………3基
- **排ガス処理設備**
調温塔……………3基
バグフィルタ(ろ過式集じん器)……………3基
触媒反応塔……………3基
白煙防止設備……………3基
- **余熱利用設備**
吸収式冷凍機……………1基
温水装置……………1基
蒸気タービン発電設備(2500kW)……………1基
- **通風設備**
押込送風機……………3基
二次送風機……………3基
誘引通風機……………3基
煙突(外筒RC、内筒鋼板製、59m)……………1基
- **灰出し設備**
灰押出機……………3基
灰移送装置……………1基
飛灰搬出装置……………1基
- **灰溶融設備**
焼却灰受入供給装置……………1式
飛灰貯留槽……………2基
灰溶融炉(ツイントーチプラズマ式、30t/24h)……………2基
スラグ搬出装置……………1式
通風・集じん装置……………3式
溶融飛灰処理装置(薬剤混練式)……………1式
- **給水設備**
プラント用水給水装置……………1式
雨水貯留槽(2,000m³)……………1基
生活用水給水装置……………1式
機器冷却水装置……………1式
再利用水給水装置……………1式
- **排水処理設備**
ごみピット排水処理装置……………1式
プラント系排水処理設備……………1式
(接触酸化、凝集沈澱、砂ろ過)
- **電気設備**
高圧(7.2kV)受電設備……………1式
低圧配電設備……………1式
電力監視盤……………1式
非常用発電設備(1,200kW)……………1基
- **計装設備**
分散形計算機制御システム……………1式
計量・車両管制自動運転システム……………1式
ごみクレーン自動運転システム……………1式

可燃ごみ処理施設の設備と流れ

ごみ計量棟



搬入したごみの計量や料金の収納をします。

③ 焼却炉



ごみは約850~950℃の高温で安定して焼却します。

焼却炉内部



ごみは階段状の火格子で送られながら焼却されます。

① プラットホーム



搬入されたごみは、ここで収集車からピットに投入されます。また、搬入車両の誘導、投入扉の行先指示も行われています。

④ 調温塔



ごみを燃やしたときに出る燃焼排ガスは高温のため、冷却して温度を調節します。

② ごみピット・ごみクレーン



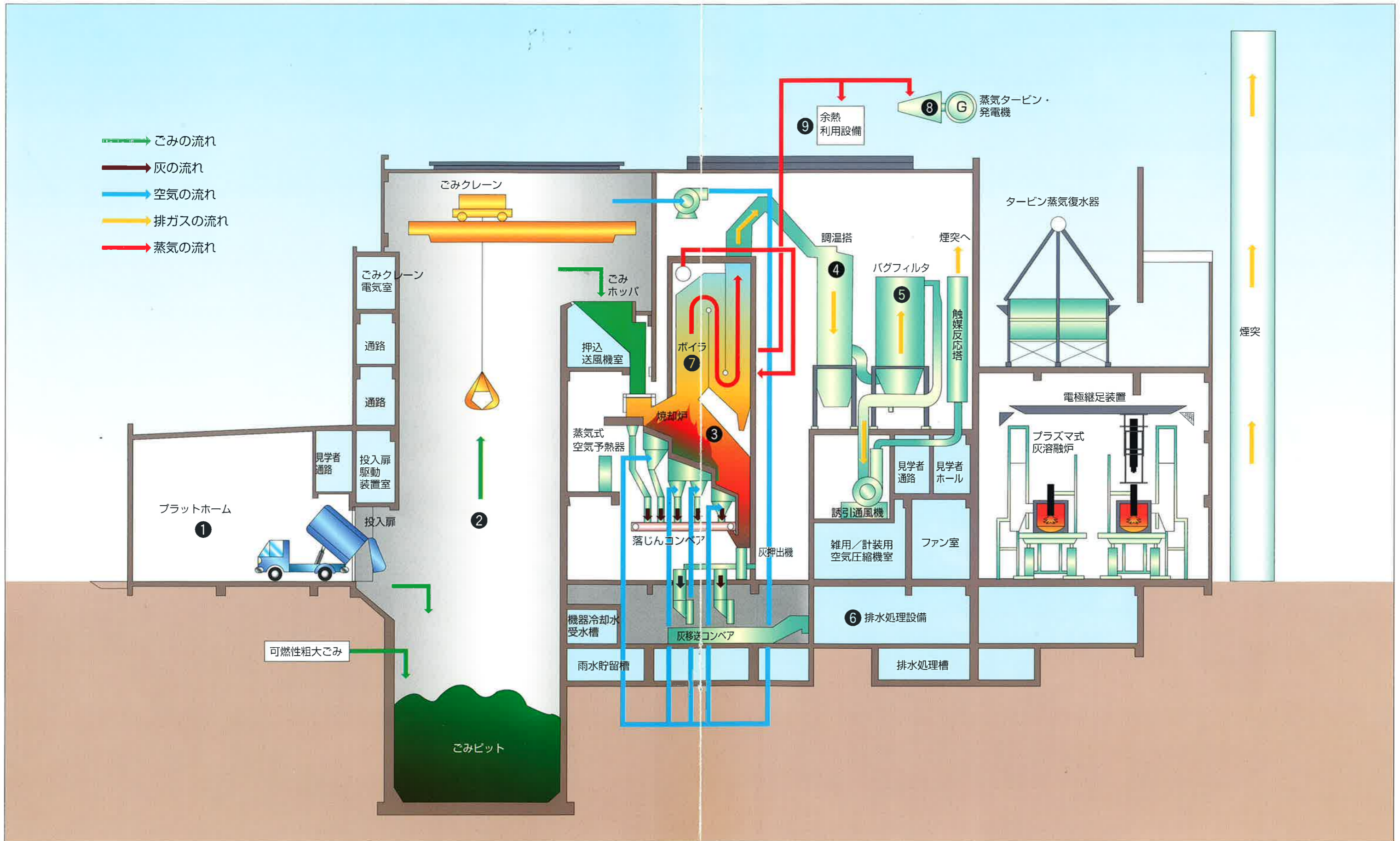
ごみピットに一旦貯留されたごみは、ごみクレーンにより良く攪拌されたあと焼却炉へ投入されます。

⑤ バグフィルタ



排ガス中のばいじんは、バグフィルタによって微細なばいじんまで取り除きます。

- ごみの流れ
- 灰の流れ
- 空気の流れ
- 排ガスの流れ
- 蒸気の流れ





中央制御室



工場内のいろいろな機器の運転操作、管理、監視制御をここで集中して行います。

クレーン操作室



ごみピット内に貯留されたごみを攪拌したり、焼却炉に投入を行います。

⑥排水処理装置



工場で利用された水は、排水処理設備で浄化した後、再利用します。

⑦ボイラー



ごみ焼却によって発生する熱はボイラーにて、そのエネルギーを蒸気として回収されます。

発電設備

⑧蒸気タービン発電機



ボイラーで作られた蒸気で最大2500kWの発電を行います。この電力はエコサイクルプラザ施設で利用します。

⑨余熱利用設備



蒸気余剰分は、施設内の給湯設備及び冷暖房等に使用されます。

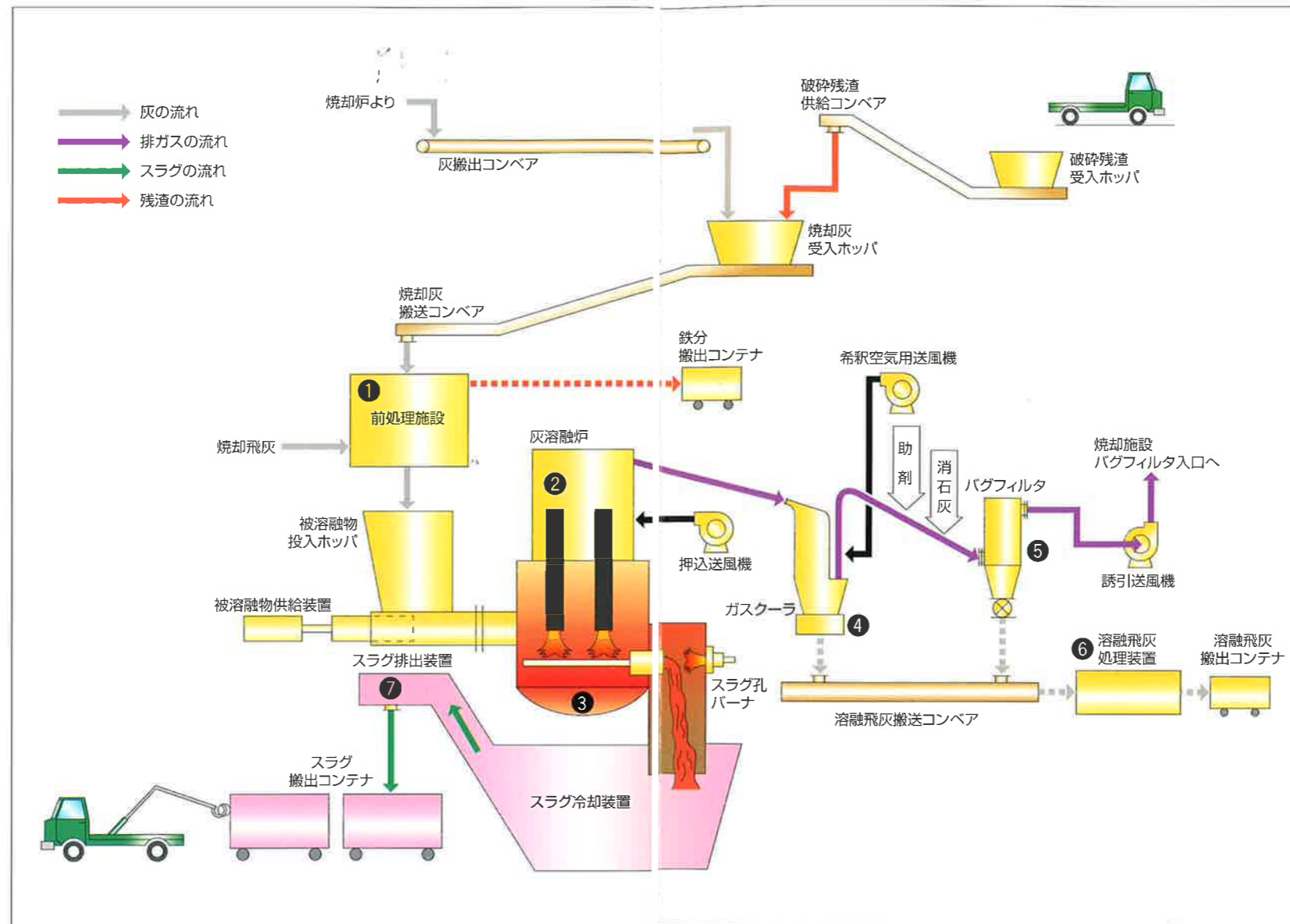
灰溶融設備の流れ

減 溶 化

焼却灰の40~60%の減容化が可能です。これにより埋立の場合、処分場の延命化が図れます。

資源化・有効利用

溶融スラグは埋戻し材、路盤材、アスファルト混合材などの土木資材のほか、その透水性を生かしたコンクリート製品の細骨材としても利用を図っています。



排ガス中のばいじんを除去し、指定の基準値以下にする装置です。なお、バグフィルタから払い落とされた集じん灰は溶融飛灰処理装置へ送られます。



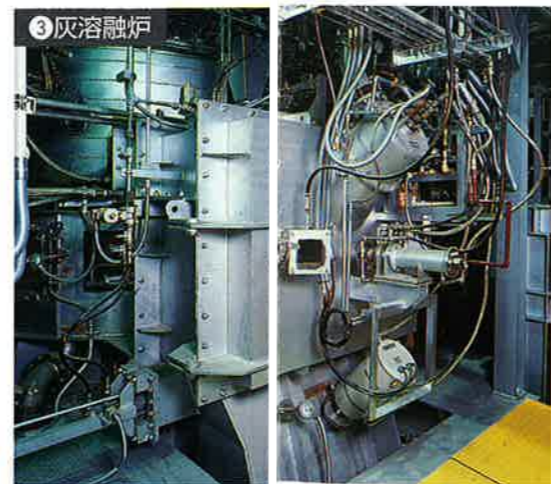
バグフィルタから払い落とされた集じん灰及びガスクーラで捕集されたばいじんを、安定無害化する装置です。



搬入される焼却灰（主灰および飛灰）および粗大残渣から粗粒物を選別して灰溶融炉へ投入可能となる粒度に破碎する装置です。



溶融炉では2本の黒鉛電極と溶融物間で高温のプラズマアークを発生させ、そのエネルギーにより灰を溶融します。電極の継ぎ足しは電極継足装置（ロボット）により行うため、簡単に継続運転ができます。



焼却灰等被溶融物を高温加熱する装置で、溶融したスラグは溶融室端のスラグ等出づーし1本のスラグ流となって排出されます。



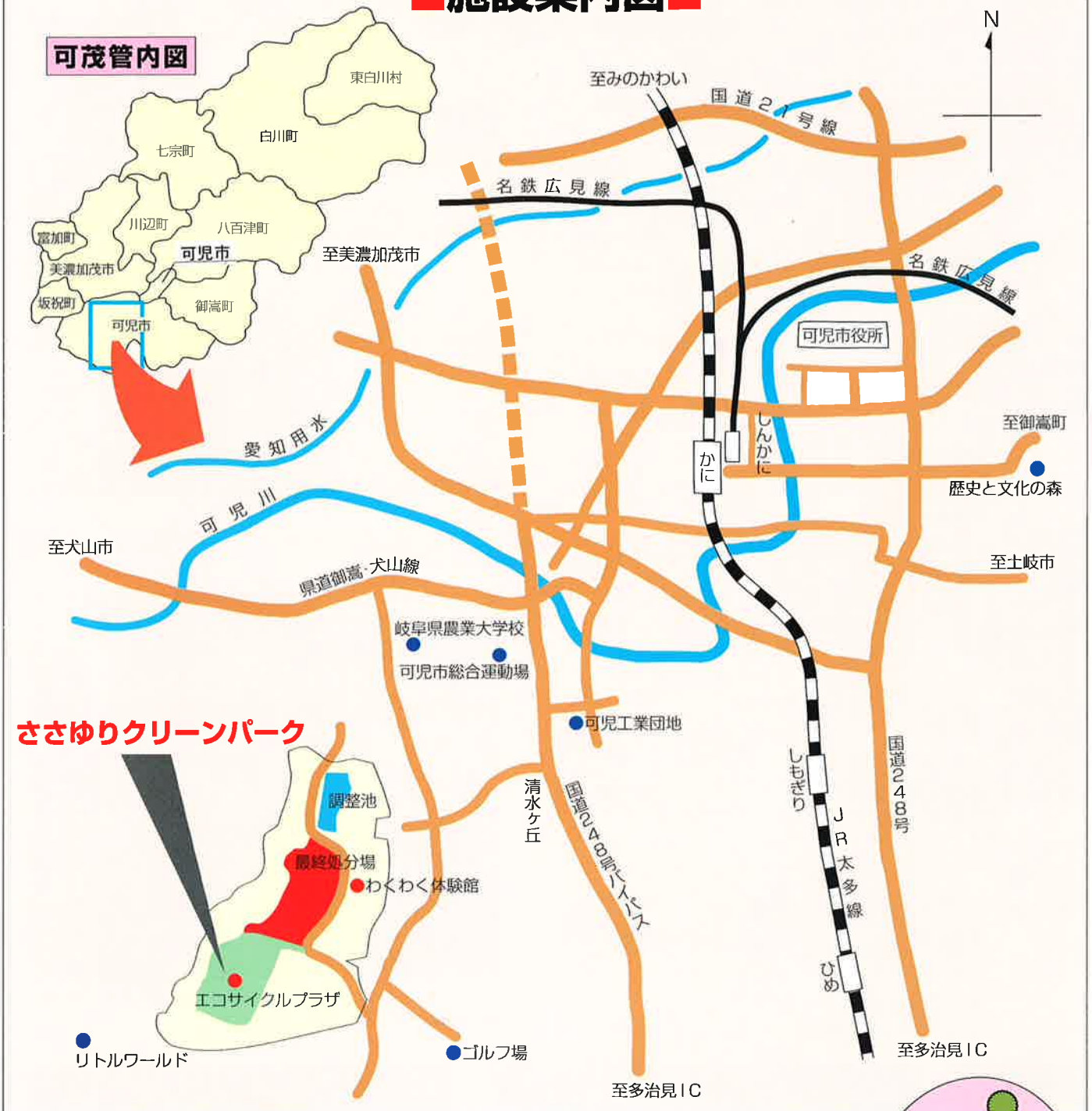
灰溶融炉からの排ガスを冷却する装置で、噴射水は完全蒸発するドラムボトム方式を採用しています。なお、ガスクーラで捕集されたばいじんは溶融飛灰処理装置へ送られます。



溶融炉で溶融されたスラグを冷却し排出する装置でスラグ搬出および搬送の各コンベアならびにスラグ貯留装置より構成されています。

■施設案内図■

可茂管内図



ささゆりクリーンパーク



■交通のご案内

- 名鉄広見線 西可児駅下車 タクシー約15分
- 新可児駅下車 タクシー約20分
- JR太多線 可児駅下車 タクシー約20分
- JR高山線 美濃太田駅下車 タクシー約30分
- 中央自動車道 多治見IC 約40分

●ユーリーちゃん



可茂衛生施設利用組合

〒509-0247 岐阜県可児市塩河839番地 TEL.(0574) 65-4111

FAX.(0574) 65-3571